

## 夕方支援に関するアンケートの結果について

学校卒業後の夕方支援については、第7期障害福祉計画での検討事項となっている。  
今後の検討を進めるにあたり、前回の本協議会におけるご意見を踏まえ、対象者を選定してアンケート調査を実施し、結果について下記のとおり取りまとめた。

### 1 調査概要

#### (1) 調査目的

区内通所事業所等の利用者等に夕方支援の利用意向を調査するとともに、区内通所事業所等に対しては実施にあたっての課題等について聞くことで、夕方の時間帯において支援が必要な障害者の居場所づくりの検討を進めるための材料とする。また、(仮称)北上野二丁目福祉施設でのサービス内容の検討にも活用する。

#### (2) 調査対象

##### ① 利用者・保護者(区民)

- ・区内生活介護、就労継続支援B型事業所の利用者及びその保護者
- ・特別支援学校の児童・生徒の保護者

##### ② 事業者

- ・区内の生活介護、就労継続支援B型、相談支援事業所

#### (3) 調査期間

令和6年12月18日～令和7年1月17日

#### (4) 調査方法

- ① 利用者・保護者へは、通所事業所や特別支援学校を通じて、依頼文を配布いただき、インターネットや郵送により回答いただいた。
- ② 事業所へは、依頼文をメールで送付し、インターネットにより回答いただいた。

(5) 回収状況

① 利用者・保護者

調査対象	対象者数 (人)	回収数 (人)	回収率 (%)
18歳未満	121	37	30.6
18歳以上	435	42	9.7
合計	556	79	14.2

② 年齢別回答者の内訳

～9歳	10～17歳	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳～	合計
5	32	16	8	4	14	79

【回収数の障害別内訳】

〔障害者〕

身体障害者： 12人

知的障害者： 33人

精神障害者： 3人

手帳未取得者： 1人

合計 49人 (※)

〔障害児〕

身体障害児： 15人

知的障害児： 28人

精神障害児： 0人

手帳未取得児： 0人

合計 43人 (※)

(※) 複数回答が可能のため、合計人数は回収数を上回っている。

③ 通所事業所 (区内の生活介護事業所、就労継続支援B型事業所)

調査対象	対象数 (事業所数)	回収数 (事業所)	回収率 (%)
生活介護事業所 就労継続支援B型事業所	16	13	81.3

【回収数の主な障害別内訳】

身体障害者： 2事業所

知的障害者： 6事業所

精神障害者： 5事業所

合計 13事業所

④ 相談支援事業所

調査対象	対象数 (事業所数)	回収数 (事業所)	回収率 (%)
相談支援事業所	13	4	30.8

## 2 調査結果

別紙のとおり

## 3 調査内容まとめ

### (1) 利用者等

- ・ 夕方の支援については、通所施設の延長と別施設での支援を合わせて6割強の方が希望している。
- ・ 希望する人の割合は、10～29歳までの対象者で全体の7割を占めている。特に10歳～17歳の割合が多い。
- ・ 利用頻度の希望は、17歳までは週5日が最も多く、18歳以上からは日数が少なくなっている。

### (2) 事業所

- ・ サービスの延長が必要と回答した事業所は3件、不要と回答した事業所が10件
- ・ 必要と回答した事業所は、実施にあたっての課題として人材確保、給付費収入不足、送迎等と全ての項目に該当があった。

### (3) まとめ

今回の調査では、全体として夕方支援についてニーズがあるが、特に障害児の保護者からのニーズが高く、就労を理由に利用回数の希望も多い。障害者の保護者の利用希望回数は少ない傾向にある。

一方で、事業者においては、現在の利用者の保護者からの相談が少ないことや様々な理由から必要性を感じていないという意見が多く、必要性を感じていても実施にあたっては課題が多くあることが分かった。

今後、現在放課後等デイサービスを利用している特別支援学校の児童・生徒が18歳以上になると保護者からのニーズが高まることが予想される。

## 4 今後の対応

夕方支援に対しては、今回の調査、令和7年度に実施する実態調査及び事業者へのヒアリング等を合わせて、課題を整理し、実施手法について検討する。